

(様式第11)

臨床神経	集学的初期治療により治癒した成人インフルエンザ脳症の1例	櫻井 岳郎	神經内科・老年学
J Biol Chem (2007)	Desmoglein vs non-desmoglein signaling in pemphigus acantholysis: characterization of novel signaling pathways downstream of pemphigus vulgaris antigens	Kitajima Y.	皮膚科
Clinical Reviews in Allergy & Immunology (2007)	A perspective of pemphigus from beside and laboratory-bench	Kitajima Y.	皮膚科
J Dermatol (2007)	Nail discoloration occurring after 8 weeks of minocycline therapy	Kitajima Y.	皮膚科
Pathophysiology of Desmosome (2008)	Desmosome assembly, disassembly and signaling in keratinocytes : Lessons from pemphigus, a desmosome-remodeling disease	Kitajima Y.	皮膚科
Eur J Dermatol (2007)	Thrombotic thrombocytopenic purpura associated with systemic lupus erythematosus	Ichiki Y.	皮膚科
Rheumatology International (2008)	Successful treatment of scleroderma-related cutaneous ulcer with suction blister grafting	Ichiki Y.	皮膚科
Burns (2008)	Assessment of burn area: most objective method	Ichiki Y.	皮膚科
Arch Dermatol (2007)	Herpes gestationis in a mother and newborn : immunoclinical perspectives based on a weekly follow-up the enzyme-linked immunosorbent assay index of a bullous pemphigoid antigen noncollagenous domain	Aoyama Y.	皮膚科
J Invest Dermatol (2007)	Ten novel mutations of the <i>ADARI</i> gene in Japanese patients with dyschromatosis symmetrica hereditaria	Aoyama Y.	皮膚科
J Biol Chem (2007)	Anti-desmoglein3 (Dsg3) monoclonal antibodies deplete desmosomes of Dsg3 and differ in their Dsg3-depleting activities related to pathogenicity	Aoyama Y.	皮膚科
J Dermatol Sci (2007)	No activation of urokinase plasminogen activator by anti-desmoglein3 monoclonal IgG antibodies in cultured human keratinocytes	Aoyama Y.	皮膚科
J Dermatol (2008)	p120ctn is associated with desmogleins when desmosomes are assembled in high Ca^{2+} , but not when disassembled in low- Ca^{2+} medium in DJM-1 cells	Aoyama Y.	皮膚科
Exp Cell Res (2008)	p120-catenin is a novel-desmoglein 3 interacting partner : identification of p120-catenin association site of desmoglein 3	Aoyama Y.	皮膚科
Eur J Dermatol (2007)	Cicatricial pemphigoid with prominent alopecia	Iwata H.	皮膚科
Arch Dermatol Res (2007)	Intraperitoneal injection of pemphigus vulgaris-IgG into mouse depletes epidermal keratinocytes of desmoglein 3 associated with generation of acantholysis	Sue E.	皮膚科
日本皮膚科学会雑誌(2007)	自己免疫性水疱症の治療と実際	北島 康雄	皮膚科
皮膚科の臨床 (2007)	膠原病外来	市来 善郎	皮膚科

(様式第11)

日本皮膚外科学会誌 (2007)	乳房外Paget病グループスタディー2006年度報告	神谷 秀喜	皮膚科
Skin Cancer (2008)	皮膚悪性腫瘍ガイドライン：基底細胞癌の診療ガイドライン*	神谷 秀喜	皮膚科
皮膚科の臨床 (2008)	B細胞リンパ腫に伴った腫瘍隨伴性天疱瘡の1例	青山 裕美	皮膚科
皮膚科の臨床 (2008)	Narrow-Band UVB療法による治療で一時的な効果を得られた成人T細胞白血病/リンパ腫の1例	青山 裕美	皮膚科
Monthly Book Derma (2008)	妊娠性疱疹と新生児類天疱瘡の診断と治療	青山 裕美	皮膚科
臨床皮膚科 (2008)	線状IgAIgG水疱症の男児例	青山 裕美	皮膚科
皮膚科の臨床 (2007)	紅皮症を来たした皮膚筋炎の1例	岩田 浩明	皮膚科
皮膚科の臨床 (2007)	当科におけるマイボーム腺癌のまとめ	岩田 浩明	皮膚科
Skin Cancer (2007)	血管肉腫の2例と当科における治療の変遷	岩田 浩明	皮膚科
Skin Cancer (2007)	遠隔転移を来たした破壊型基底細胞癌の1例	岩田 浩明	皮膚科
皮膚科の臨床 (2007)	23年後に肺転移を来たしたultra-late recurrenceと考えた悪性黒色腫の1例	岩田 浩明	皮膚科
Am J Roentgenol	Computer aided diagnosis of hepaticfibrosis:preliminary evaluation of MRI texture analysis using the finite difference method and an artificial neural network	加藤 博基	放射線科
Am J Roentgenol	Gadolinium enhanced multiphasic 3D MRI of the liver with prospective navigatorcorrection:phantom study and preliminary clinical evaluation	兼松 雅之	放射線科
Eur J Roentgenol	Multi-detector row CT of the kidney:Optimizing scan delays for bolus tracking techniques of arterial,corticomedullary, and nephrographic phases	五島 聰	放射線科
Radiat Med	CT nased postimplant dosimetry of prostate brachytherapy:comparison of 1-mm section CT	田中 修	放射線科
Am J Roentgenol	MDCT of the pancreas:optimizing delay with a bolus-tracking technique for pancreatic,poripancreatic vascular, and hepatic contrast enhancement	近藤 浩史	放射線科
Radiat Med	Comparison of urethral diameters for calculating the urethral dose after permanent prostate brachytherapy	田中 修	放射線科

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したものうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なもの

を記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 森脇 久隆
管理担当者氏名	事務部長 濱口清武, 総務課長 引字勝美, 医療サービス課長 堀富美雄, 情報企画課長 木澤教治, 管理課長 堀秀廣, 放射線部長 兼松雅之, 高次救命治療センター長 小倉真治, 薬剤部長 伊藤善規, 看護部長 間宮礼子, 生体支援センター長 村上 啓雄

	保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	医療サービス課、各診療科、医療情報部、放射線部、手術部、薬剤部、看護部	カルテは、患者ごとに、1カルテを作成し、診療記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、診療経過の要約と共に電子媒体で保存管理している。
病院の管理及び運営に関する諸記録 従業者数を明らかにする帳簿	総務課	
高度の医療の提供の実績	医療サービス課	
高度の医療技術の開発及び評価の実績	研究支援係（医学系研究科・医学部事務）	
高度の医療の研修の実績	総務課	
閲覧実績	総務課 医療サービス課 情報企画課	
紹介患者に対する医療提供の実績	医療サービス課	
入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医療サービス課 薬剤部	
確規則第9条の状況	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療サービス課
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医療サービス課
及び第11条の各号に掲げる体制	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療サービス課
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療サービス課
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療サービス課
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療サービス課
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療サービス課
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善の方策の状況	医療サービス課

			保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第9条の23及び第1条の11各号に掲げる体制	院内感染のための指針の策定状況	医療サービス課 生体支援センター	
		院内感染対策のための委員会の開催状況	生体支援センター	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	生体支援センター	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善の方策の実施状況	生体支援センター	
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部	
		従業員に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	薬剤部	
		医療機器の安全使用のための責任者の配置の状況	医療安全管理室	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療安全管理室	
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療安全管理室	
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	医療安全管理室	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲 覧 責 任 者 氏 名	事務部長 濱口清武
閲 覧 担 当 者 氏 名	医療サービス課医療連携係長 井深 和子
閲覧の求めに応じる場所	医療サービス課 医療連携センター相談室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延 0 件
閲 覧 者 別	医 師	延 0 件
	歯 科 医 師	延 0 件
	国	延 0 件
	地方公共団体	延 0 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹 介 率	62.9 %	算定期間	平成19年4月1日～平成20年3月31日
算 定 根 拠	A : 紹介患者の数		9,907 人
	B : 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		9,995 人
	C : 救急用自動車によって搬入された患者の数		1,610 人
	D : 初診の患者の数		24,162 人

(注) 1 「紹介率」欄は、A, B, Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで

記入すること。

2 A, B, C, Dは、それぞれの延数を記入すること。

規則第9条の23及び第1条の11各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	(有) (3名)・無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	(有) (6名)・無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	(有)・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 所属職員： 専任(3)名 兼任(7)名 ・ 活動の主な内容： 以下の点について毎週会議を開催して検討 <ul style="list-style-type: none"> ○医療安全に係る啓蒙及び広報に関すること ○医療の安全確保のため、医療現場との連絡調整に関すること ○医療の安全確保に係る職員研修の企画立案に関すること ○インシデントに関する情報の収集及び分析、関係資料作成に関すること ○医療事故再発防止対策等の立案と周知徹底並びに改善に関すること 	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	(有)・無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	(有)・無
<ul style="list-style-type: none"> ・指針の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ○医療にかかる安全管理の委員会その他医療機関内の組織に関する基本的事項 ○医療にかかる安全管理のための職員研修に関する基本的事項 ○医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保をの目的とした改善に関する基本方針 ○医療事故(過誤)、重大事象発生時の対応に関する基本方針 ○行動制限防止のための指針 ○患者に係る当該指針の閲覧に関する基本方針 ○その他医療安全の推進のための基本方針 	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 13 回
<ul style="list-style-type: none"> ・活動の主な内容： 「医療安全管理委員会」 <ul style="list-style-type: none"> ○インシデントレポート分析、防止(改善)策に関すること ○医療事故防止対策の検討及び推進に関すること ○医療事故防止対策に関する職員研修の企画に関すること 	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 16 回
<ul style="list-style-type: none"> ・研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ○医療安全研修会「京大における医療安全管理の実際について」(京都大学・医療安全管理室長 長尾 能雅) ○医療安全研修会「医療安全を願って」稻垣 克己(医療事故被害者家族) ○輸液ポンプ、シリンジポンプ研修会(医療機器センター技師外) ○医療安全研修会「なぜ！いま！立会い行為の規制なのか」外(医療安全機器公取協議会 事務局長 赤松) ○小型シリンジポンプ(PCA)の研修会(メーカー外) ○医療安全研修会「医療安全の取り組み(最近の動向)について」外(医療安全管理室副室長 内藤智雄)外 ○リスクマネージャー研修(年2回) ○新採用・中途採用職員研修(研修医・医師・看護師・技師など)(年8回) 	
⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善の方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関内における事故報告等の整備 (有)・無) ・その他の改善の方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ○インシデント報告システムの導入 ○抗菌剤の安全な使用についての取り決め ○行動制限防止のための指針(身体拘束の基準) ○バーコードによる患者認証システムの導入と評価 ○血管造影時の肺塞柱血栓症予防策 ○患者参加の安全推進活動 	